

あいの家にぎわいハウス市民共同発電所（12号機）の設置にご協力を！

奈良県の中山間地の東吉野村で、お年寄り一人一人を大切に、地域の方々と共に歩んできた「あいの家」。高齢者の終の棲家であり世代間交流もできる施設として建設中の建物の屋根の上に、市民共同発電所をつくりましょう。クリーンなエネルギーを増やし、災害時にも地域に開かれた施設として防災拠点になります。

事業名 あいの家にぎわいハウス市民共同発電所プロジェクト

住所 奈良県吉野郡東吉野村木津（こつ）180番

設備 蓄電池付き太陽光発電システム

太陽光パネル8.01kW 蓄電池10kWh

総事業費（啓発費含む）340万円

奈良県令和6年度事業所エネルギー効率的利用推進事業

資金 奈良県補助金、再エネ協同基金助成金、自己資金

市民寄付金、*おてんとさん支援金

（*市民共同発電所 1～11号機の発電による電気代削減分の一部など協議し寄付された資金）

住宅用太陽光発電（10kW未満）では、余剰電力は@16円/kWhで10年間買取られますが、「あいの家にぎわいハウス」では、蓄電池に貯めて全量消費する計画です。

消費電力をなるべく太陽光で発電された電気で賄い、停電時電源としても使用出来る計画です。

中山間地の東吉野村の共生社会づくり
クリーンなエネルギーをみんなの力で！

あいの家にぎわいハウスに市民共同発電所を

あいの家は、中山間地の村で古民家を活用して高齢者の移送、弁当配達や小規模多機能ホームを運営しています。このたび看取りのできる施設として「にぎわいハウス」設置に取り組み、共生社会の新たなモデルづくりに挑戦し続けています。

あいの家
特定非営利活動法人 東吉野村まちづくりNPO
東吉野村木津130番地 0746-44-9900

中山間地の東吉野村で、お年寄り一人ひとりを大切に、地域の方々と共に歩んできた「あいの家」に市民共同発電所をつくりましょう。地域にクリーンなエネルギーを増やし、経費も削減でき、蓄電池付きで災害時にも強く地域に開かれた安心できる施設として防災拠点になります。

地球温暖化の影響を受けない場所はどこにもありません。力を合わせてつくりましょう。

あいの家にぎわいハウス市民共同発電所（蓄電池付き太陽光発電システム）

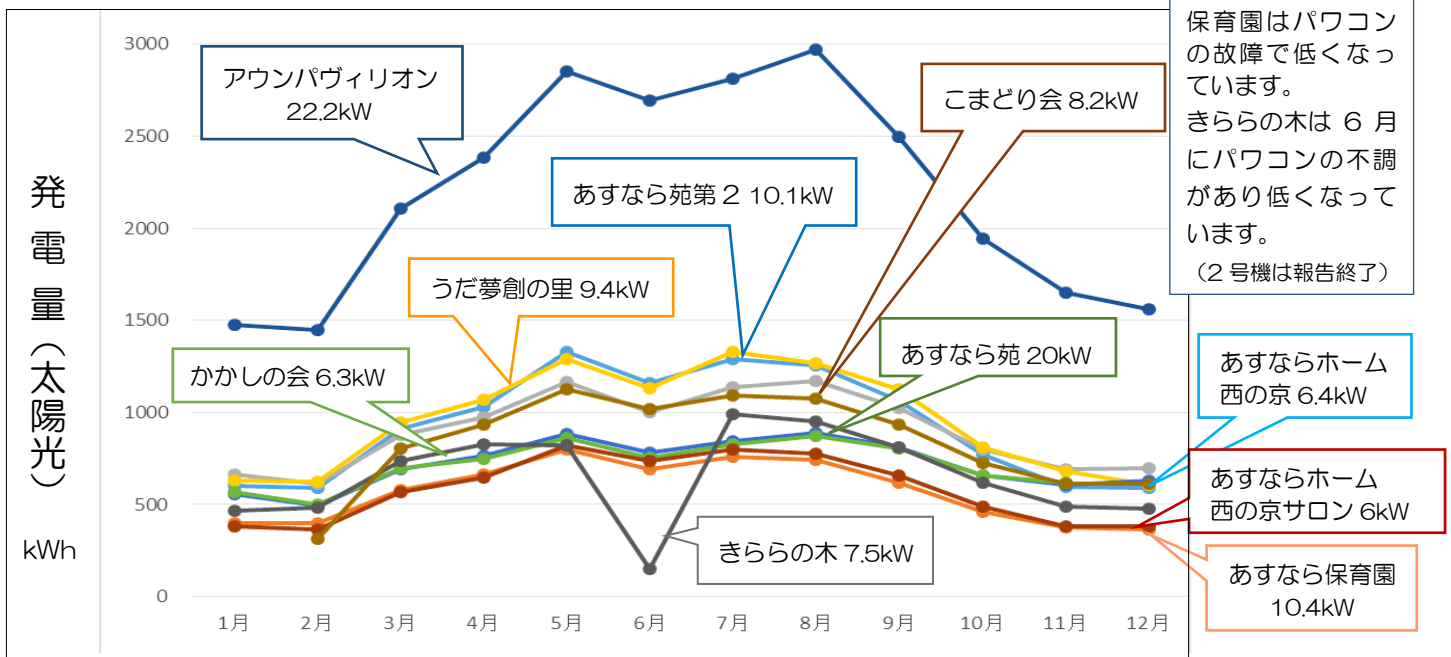
- 太陽光パネル 8.01kW
- 総事業費（啓発費含む）340万円
- 再エネ協同基金補助金
- サークルおてんとさん支援金*
- 蓄電池 10.0kWh
- 奈良県補助金
- 市民寄付金（目標80万円）
- 建設協力金

寄付者のお名前を記載したバナーを写真に貼付してご協力ください。

寄付金 1口 3,000円（複数口、少額でも結構です）
振込先 郵便振替番号 00960-3-264956
口座名義 特定非営利活動法人サークルおてんとさん
募集期間 2025年2月まで
事業名 あいの家にぎわいハウス市民共同発電所プロジェクト
問合せ先 特定非営利活動法人サークルおてんとさん
MAIL otenosan22@joho.co.jp
ホームページ https://www.otentosan.net/wp/

あいの家にぎわいハウス市民共同発電所プロジェクト NPO法人 東吉野村まちづくりNPO
NPO法人 サークルおてんとさん

おてんとさん市民共同発電所 2024年の発電量



日本の年平均気温及び日本近海の年平均海面水温はいずれも、これまでの1位の記録（2023年）を大きく上回って統計開始以降最も高い値となる見込みです。特に東・西日本と沖縄・奄美で記録的な高温となり、夏・秋の2季節連続で季節平均気温が1位の高温（タイ記録含む）となりました。年降水量は東日本太平洋側と沖縄・奄美でかなり多く、春と夏に降水量がかなり多かった東海地方では、1946年の統計開始以降、年降水量が1位の多雨となりました。世界の年平均気温も、これまでの1位の記録（2023年）を大きく上回って統計開始以降最も高い値となる見込みです。